

平成28年度 11 月期居宅介護支援部会議事録

書記	青木
文責	鵜沢

開催日時	開催場所
平成28年11月29日(火) 18時30分 ~ 20時00分	こども支援センターげんき5階研修室3
出席者・講師など	
居宅介護支援事業所55事業所	61名参加
POSネットワーク	66名参加
目白大学作業療法学科准教授	小林幸治氏
次第	
1 挨拶 鵜沢部会長 2 テーマ「地域包括ケアシステムの中でセラピストはどう動く？」 3 内容 ケアマネジャーとセラピストの協働に向けて 4 事務連絡	
議事	
<p>1.挨拶 鵜沢部会長 11月11日(金)介護の日イベントに協議会として参加した。居宅部会で担当した介護相談コーナーは昨年よりは来場者があった。次年度以降も行政と協力しイベントを盛り上げていきたい。 オレンジリングのキャラバンメイトの資格を取った人が動き出している。部会としても協力していきたい。</p> <p>POSネットワーク 山之内 聖一氏 昨年に引き続き合同での開催の場を設けることができた。 今後も地域包括ケアシステムの中でPT OT STを生かす活動をしていく。</p> <p>2.テーマ「地域包括ケアシステムの中でセラピストはどう動く？」 3.内容 1.療法士は地域を強くするために役立てるか 2.医療介護連携を身近に実践しよう 3.活動例:介護予防教室の改革 4.活動例:市民健康大学と地域交流会の運営 5.専門職としての社会的使命は</p> <p>地域背景の問題に目を向ける。参加とは社会レベルで「生きること」の側面を捉えたものであり、社会の様々な状況に関与し、そこで役割を果たすこと。 社会参加より参加はもっと広い概念である。家事は重要な社会参加である。 ニーズはあるものではなく「協働で」創るものである。 介護サービスを入れるだけでは解決にならない。 主体的になれる関わりと仕掛け、可能性の見える化と実感、環境(人・物)の確保、習慣化 人の尊厳の観点から本来の人生を生きることを支援するには、弱ってからということはありません。</p> <p>4.事務連絡 足立区介護サービス事業者連絡協議会 交流会 日時:平成28年12月15日(木) 18時30分~20時30分 会場:シアター1010 11階ギャラリーホール(北千住マルイの11階) 足立区千住3-92 千住ミルディス1番館 会費:1人 4,000円</p>	